

環境マネジメント

日本地域における環境方針

Hondaは環境・安全ビジョンやHonda環境宣言をグローバル共通の環境経営に向けた考え方としてまとめています。2021年4月には、グローバルな取り組みへの考え方として、人々が持続的に生活して行く為の、「環境負荷ゼロ」の循環型社会を目指すことを掲げました。

日本地域でもこの考え方に合わせて、本田技研工業(株)の環境方針をまとめており、各事業所に掲示し、「カーボンニュートラル」、「クリーンエネルギー」、「リソースサーキュレーション」の3つの実現に向けて取り組んでいます。

本田技研工業(株) 環境方針

基本理念

地球環境保全を最重要課題とする社会の責任ある一員として、Hondaは、すべての企業活動を通じて、人の健康の維持と地球環境の保全に積極的に寄与し、その行動において先進性を維持することを目標として、その達成に努めます。

環境方針

私たちは、事業活動における環境側面とその影響に配慮し、Honda環境宣言及び全社方針を踏まえ、環境の先進企業として全ての事業で環境負荷ゼロへの展開に向けて、以下の環境マネジメント活動を行います。

1. 事業活動における環境影響評価を行い、重要な項目に関しては、技術的・経済的に可能な限り環境負荷ゼロを目指し、目標を設定し改善します。
2. 関連する環境法規や基準及びその他要求事項を順守し、環境汚染防止に取り組みます。
3. 製品・企業活動を含めたライフサイクル観点での環境負荷ゼロを目指し、継続的に取り組めます。
 - ・カーボンニュートラル (CO2 排出量ゼロ)
 - ・クリーンエネルギー (カーボンフリーエネルギー100%)
 - ・リソースサーキュレーション (サステナブルマテリアル使用率 100%)
4. Honda 生物多様性ガイドラインに沿った活動に取り組めます。
5. 社会との共生に努めます。
6. 環境教育や社内活動を実施して、事業活動に従事する人へ環境方針の理解と環境情報の周知徹底を図ります。
7. 環境マネジメントシステムの継続的向上を図ります。
8. 環境方針及び環境実績は、必要に応じ社外に公開します。

2021年 6月 1日

本田技研工業(株) 環境総合統括責任者

日本地域環境会議議長 安部 典明